DJ-TX31 セットモードの各機能について

DJ-TX31 は用途に合わせて正しく、より使いやすくするためにカスタマイズすることができます。起動中に設定を変更したときは電源を入れ直してください。

［ DJ-TX31　設定スイッチ機能 の 説明 ］

1:　VOX　機能（設定スイッチ MODE 4）
設定値 ON/OFF（初期値 OFF）
[PTT]キーを押さなくても自動的に送受信を切り替えられる機能です。マイクに音声が入れば送信、音声が無くなれば受信に切り替わります。ハンズフリーでの通話が可能になり両手が使えないときに便利です。
注）・VOX 機能は一部のオプションマイクでは使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。
・音声以外で送信してしまうような騒音の大きい場所では、この機能はご使用になれません。
・VOX 機能を使うと、通話を始めても送信するまでに多少時間がかかるため、音声の始めが途切れる場合があります。

2:　ビープ 音（設定スイッチ MODE 5）
設定値 ON/OFF（初期値 ON）
ビープ音（キー操作音など）の ON/OFF を設定します。
注）「OFF」にすると、すべてのビープ音（キー操作音、各種アラーム音、エンドピー音）が鳴らなくなります。

3:　コンパンダー 機能（設定スイッチ MODE 6）
設定値 ON/OFF（初期値 ON）
コンパンダー機能を ON に設定すると、音声通話の明瞭度を上げる（「サー」というバックノイズを低減する）ことができます。
注）コンパンダー機能のないトランシーバーと通話する場合には、コンパンダー機能は OFF にしてください。

4:　エンドピー 機能（設定スイッチ MODE 7）
設定値 ON/OFF（初期値 OFF）
送信終了の合図（[PTT]キーを離したとき）の「ピッ」音の ON/OFF を設定します。

5:　コールバック 機能（設定スイッチ MODE 8）
設定値 ON/OFF（初期値 OFF）
送信中自分の声をイヤホンで聞くことができる機能です。周辺の騒音が大きいときなど、本機能を ON にすると通話しやすく感じられる場合があります。

注）スピーカマイク使用時にコールバック機能を ON に設定すると、ハウリングを起こして正常に使えなくなります。

6: バッテリーセーブ （ BS ）機能（設定スイッチ MODE 9）
設定値 ON/OFF（初期値 ON）
待ち受け受信時に動作して電池消費を最小に抑えるバッテリーセーブ機能は、通話の始めの一部が途切れる「頭切れ」の原因の一つになります。 これを無くすためにバッテリーセーブ機能を解除できますが、電池の消費が早くなるためご注意ください。

7: 電池選択機能（設定スイッチ MODE 10）
設定値 アルカリ乾電池／ニッケル水素充電池（初期値 アルカリ乾電池）
減電池表示機能を正しく動作させるため、使用する電池の種類を選択します。

8： PTT ホールド(PH) 機能
設定値 ON/OFF（初期値 OFF）**（設定スイッチ CH 6）**
[PTT]キーを一度押すと送信を継続、もう一度[PTT]キーを押すと受信待ち受け状態になります。この機能を ON にすると送信中に [PTT]キーを押し続けていなくても済むので、一回の通話で話す内容が長くなるような現場では、これを ON にしておくと便利に使えます。キーロック機能が無いマイクアクセサリーでロックの代用として使うこともあります。
※VOX 機能との併用はできません。

注）PTT ホールド機能は一部のオプションマイクでは使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。